

# KUKUくくるRU

2021年 9 月号



撮影場所:首里城公園 ©taku/PIXTA(ピクスタ)

医療法人沖縄徳洲会  
**南部徳洲会病院**

〒901-0493 沖縄県島尻郡八重瀬町字外間171番地1  
☎098-998-3221(代) FAX 098-998-3220  
<http://www.nantoku.org>  
mail:postmaster@nantoku.org



日本医療機能評価機構  
認定第 JC1479 号



Japan Medical  
service Accreditation  
for International Patient



Organization Accredited  
by Joint Commission  
International

こくろクリニック 〒900-0024 沖縄県那覇市古波蔵3-8-28  
☎(098)855-1020 FAX(098)855-1021

ひめゆりクリニック 〒901-0344 沖縄県糸満市伊原107-1  
☎(098)997-3702 FAX(098)997-3703

グループホーム 〒901-0344 沖縄県糸満市伊原107-1  
ひめゆり ☎(098)997-5200 FAX(098)997-5208

訪問看護ステーション 〒901-0493 沖縄県島尻郡八重瀬町外間80  
いこい ☎(098)835-7881 FAX(098)835-7880

ヘルパーステーション 〒901-0493 沖縄県島尻郡八重瀬町外間80  
いこい ☎(098)835-7671 FAX(098)835-7880

介護付有料老人ホーム 〒901-0493 沖縄県島尻郡八重瀬町外間80  
徳洲苑かふう ☎(098)998-0760 FAX(098)998-0761

放射線部 統括部長

へいあん な じょういち

# 平安名 常一 医師

## がんで苦しむ患者さまを 全力を尽くして助けたい



平安名 常一 医師 (プロフィール)

1995年 秋田大学医学部医学科卒業  
1995年5月 秋田大学医学部附属病院放射線科 入局  
市立秋田総合病院放射線科および秋田大学病院を  
経て2000年に秋田赤十字病院へ入職  
2013年 琉球大学医学部放射線診断治療学講座 入局  
2021年7月より南部徳洲会病院へ入職し現在に至る  
放射線治療専門医・IVR専門医・核医学専門医

今年7月、南部徳洲会病院放射線部の統括部長に就任した平安名常一医師。放射線治療専門医としてのこれまでの経験や、治療への思いなどを伺いました。

—— 医師になろうと決めたくっかけを伺えますか？

高校生の頃は漠然と教師か医師になりたいと思っていて、最初は横浜国立大学教育学部に進学しました。そこで教員免許を取得したのですが、いざ教師という職業を考えた時に自分の中であまりしっくりこなくて、悩んだ末に医師の道を志すことを決め、秋田大学医学部に進学しました。当時は医師を目指す明確な理由があるわけではなく、とにかく「挑戦してみたい」という気持ちだったように思います。医学部卒業時は耳鼻科あるいは肝胆膵外科を考えていましたが、周りの同級生と比べて年齢を重ねていたこともあり、あまり年齢が問題とならない(と思われた)放射線科に進路を決めました。

—— 秋田県での勤務医時代は、どんなことに取り組まれましたか？

秋田大学医学部を卒業してからは

秋田大学医学部放射線科に入局、秋田大学医学部附属病院および市立秋田総合病院で研鑽を積んだのち、秋田赤十字病院へ入職しました。最終的には秋田県内で約19年間勤務しました。

放射線科はCTやMRI画像を用いて病気の診断を行う放射線診断部門とがんに対し放射線治療を行う放射線治療部門の2つの部門があります。専門領域が分かれているため、一般的には一人の医者が両方の領域を兼任することはほとんどありません。しかし、秋田勤務の19年間は、どちらの領域も対応しなければならぬ環境に置かれていたために、私は放射線診断学と放射線治療学の両方をずっと学んできました。秋田赤十字病院では、がんの治療の他にも交通事故をはじめとした外傷など、放射線治療の現場では見ることのない患者様の治療も行っていました。その結果、さまざまな疾患の患者様に出会い、幅広い知識を身につけることができたと思います。

2011年に東日本大震災が発生した時、東北では多くの方がお亡くなりになり、怪我をした人の救助や治療を行うために秋田赤十字病院から多くの医師やスタッフが被災地へ支援に向かいました。私はがん患者様の治療のため支援には参加していま



せんが、震災当時は「被災地の応援や救助が最優先」という雰囲気が強く、そのため、がんで苦しむ方々の治療が後回しになってしまいう状況も少なからずありました。充分ながんの治療ができずに苦しんでいる患者様の症状を何とかして軽くしてあげなければならぬと感じた事が、本格的にがんの緩和治療に携わるようになった一つのきっかけだったと思います。そして震災以降は主にがんの症状緩和の治療を精力的に行ってきました。

——平安名先生が行うがんの放射線治療について聞かせてください。

がんの治療はがんの種類によっても異なりますが、基本は外科手術、放射線治療、薬物治療(全身化学療法)となっています。外科手術はメスを使ってがんの組織そのものや、がんのある臓器を摘出するものです。私に関わる放射線治療はがんの病巣に放射線をあてて、がんを小さくしたり、消滅させたりする治療です。薬物治療は抗がん剤などの薬剤を全身に投与してがんの増殖を抑えたり、がんを縮小させる治療法です。手術や放射線治療の後に、体の中に残っている目に見えない小さながん細胞が増えないようにするために使うこともあります。



私は放射線治療医の立場上、放射線治療を含む様々な治療のあとでがんの再発あるいは再々発をきたした状況に出会うことが多々あります。再発を繰り返すと可能な治療法が無くなってきてどうしてよいかわからなくなってしまう。その様な患者様の多くは「からだは元気なんだけど、がんによる痛みさえなければなあ・・・」とおっしゃいます。そういった場面に出会うたびに「がんを治すことができないくても、せめて、がんによる辛い症状をとってあげることができないだろうか?」と思い、治療法を模索してきました。その症状緩和の治療として私が秋田の勤務医時代から行ってきたのが動注化学療法という治療です。放射線治療と組み合わせることもありますが、多くは動注化学療法のみを行います。この治療によりこれまでなかなか改善しなかつたがんによる症状

が和らぎ、家族と一緒に自宅で過ごすことができるようになったり、残された時間を有意義に過ごせるようになることがあります。残念ながら、この治療法は比較的歴史が浅く、手技の煩雑さもあり、なかなか一般には広まっていませんが、ようやく沖縄県でも私を中心に少しずつ術者が増えています。

——そのことが、仕事のやりがいにもつながっているのでしょうか?

そうですね。どんなに痛み止めを使用しても楽にならなかった痛みが動注化学療法のとくに「先生、痛みが楽になっていきます」と言ってもらえた時が一番嬉しいです。

私が目指すものは「患者様ががんの痛みにあまり苦しまずに、有意義に過ごせる時間を少しでも長く持つことができる」ことです。がんの痛みを取り除いてあげる事ができれば入院期間を減らし、普段と変わらない日常生活を送ることが出来ます。がんとの向き合い方は家族によって様々ですが、困っている患者様のためにできる限り最善を尽くしたいと思っています。

患者様に対して常に「何かできることはないか?」という思いをしています。

秋田県時代の思い出

が、その「何か」は自分ひとりでは成し遂げることはできません。技師・看護師・薬剤師・外科、泌尿器科、緩和ケア科などを含む他科の医師などのみんなの協力があったはじめてできる事です。秋田でも沖縄でもそうですが、これからもチームワークを大切にして互いに協力しながら苦しんでいる患者様を一人でも多く助けることができるよう努力していきます。

道路にカモシカが出ることもあるという自然が豊かな秋田県。この地で25年間過ごした平安名先生に秋田の魅力は?と伺うと、「やはり食べ物美味しいこと。肉も魚も米も、そして日本酒も。なんでも美味しい。時々、秋田から送ってもらったぎりたんぼを食べますが、日本酒との相性も抜群です」と答えてくれました。ちなみにお気に入りの日本酒は?と聞くと新政酒造の「陽乃鳥」とのこと。甘口で爽やかな香りが特徴だと教えてくれました。



# 可能性を 秘めた

# 動注化学療法

がんの症状緩和が期待されている動注化学療法。専門的で難易度の高い手技が必要のため、国内で行われている施設はほんの一握りと少ないのが現状です。そんな中、積極的にこの治療に取り組んでいる放射線治療科の平安名常一医師に、治療法の特徴や、これからの可能性、今後挑戦していきたいことについて聞きました。



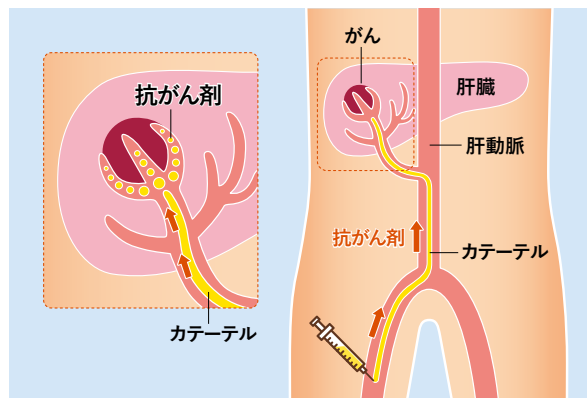
カテーテルを用いた動注化学療法の様子

今後のがんの緩和治療への貢献が期待される動注化学療法とは

カテーテルを動脈内に挿入し、がんの栄養血管に直接抗がん剤を投与する動注化学療法。「一般的に広く行われている全身化学療法は、点滴によって抗がん剤を静脈に投与するもので、抗がん剤がじんわりと全身に行き渡るのが特徴です。一方、動注化学療法はがんに対しカテーテルを用いて直接抗がん剤を投与するため、少ない量の抗がん剤を局所に確実に投与することができます(4ページのイラスト参照)」と平安名先生。全身化学療法はこの施設でも同じように抗がん剤を投与して治療が受けられるのに対し、動注化学療法は専門的な手技が必要で、手技自体も煩雑なことから治療できる施設が限られています。

「治療の目的は、基本的にはがんによって引き起こされる症状の緩和です。ただし、動注化学療法が治療の第一選択になることは少なく、手術・放射線治療・全身化学療法後の再発、再々発で、その後の救済治療法がなかなか見つからない患者様が対象になります。多くは動注化学療法のみ行いますが、動注化学療法と放射線治療を組み合わせることで、





肝臓がんを例にした動注化学療法のイメージ図

難治性がんの痛みなどの更なる症状緩和が期待できません」。

現在、動注化学療法によるがんの症状緩和を行っている施設は全国的にもまだ数少ないといえます。「私自身、秋田県でこの治療をはじめた頃、周りに緩和治療の一環として動注化学療法を行う医師はおらず、誰にも相談する事ができませんでした。また、参考となる論文も少なかったため、自分の方向性が果たして正しいか自信がなくなる時期もありました。そんな時、背中を押し下さったのが、当時、聖マリアンナ

医科大学放射線科でがんの緩和治療として動注化学療法を精力的に行っていた滝澤謙治先生でした。『困った事があつたらいつでも連絡をください。相談にのります』と励ましのお言葉を頂いたのですが、その数か月後、彼はがんで帰らぬ人となってしまいました。今の私がこうして動注化学療法を続けることができて

いるのは滝澤先生のおかげですし、この治療をもっと多くの医療者に広めることが使命だと思っています。現在はそのため、論文発表や研究を進めています」。

**今後の動注化学療法の可能性や、取り組んでいきたいこと**

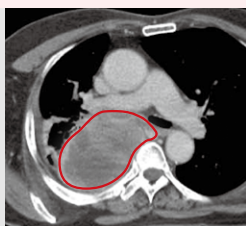
2020年6月、当院では最先端の放射線治療であるサイバーナイフの運用を開始。平安名先生は、今後の可能性としてサイバーナイフと動注化学療法を組み合わせることで難治性がんの治療の幅が広がる可能性があると言います。「サイバーナイフが得意とする小さながんで、尚且つこれだけでは根治できない可能性が高い場合に、動注化学療法と組み合わせることで治療強度をより高めることができます。この2つを組み合わせるのはおそらく世界初と思われま

**CASE.1**

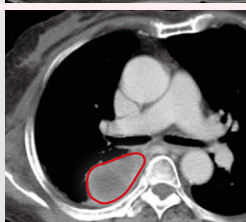
**肺の悪性黒色腫による咯血・呼吸困難に対する動注化学療法**

70歳台女性の患者様。肺の悪性黒色腫の治療のため、これまで免疫チェック

肺の腫瘍部分を示したCT画像。腫瘍(赤線部分)により右主気管支が閉塞している状態。



動注化学療法終了2週間後、肺の腫瘍(赤線部分)は縮小。右主気管支も正常となり症状は改善した。



ポイント阻害剤を29回投与していた。30回目の投与直前に、急激に腫瘍が増大。そのため腫瘍が右主気管支を閉塞し、咯血・呼吸困難が出現した。主治医から紹介を受けて動注化学療法を実施。治療から2週間後のCT画像では、がんは縮小しており症状も緩和された。

**CASE.2**

**子宮体がんの肝転移・腹痛に対する治療**

60歳台女性の患者様。子宮体がんの治療後、肝臓へ転移したため、全身化学療法を行っていた。しかし、治療効果が得られず、肝臓の腫瘍が増大・増加。腹

肝臓の腫瘍部分を示したCT画像。多発肝腫瘍により肝臓が腫大し、他の臓器を圧迫(赤線部分)。



動注化学療法2回を終了した後、多発肝腫瘍は縮小し腹痛も改善した。



痛などの症状が悪化したため、主治医より紹介を受けて、動注化学療法を2回実施した。治療2回終了後には、写真にあるように、肝臓の腫瘍は縮小し腹痛などの症状も緩和された。

(注) 動注化学療法は全てがん患者様に對して同じような治療効果が得られるわけではありません。

拡大!!

治療枠

# アフターファイブ治療

# 開始

「仕事を休まずに放射線治療を受けたい」という声にお応えして、  
8月から治療時間帯を拡大いたしました。

7～17時 → 7～**20**時 ※最終受付 19時まで



平安名 常一 医師

眞鍋 良彦 医師

橋本 成司 医師



南部徳洲会病院は、厚生労働省指定基幹型臨床研修病院です。

厚生労働省指定基幹型臨床研修病院とは、医学部を卒業し、医師免許を取得した医師（研修医）が卒後2年間、基本的な手技、知識（初期研修）を身につけるために、厚生労働省の審査を受け、指定を受けた病院のことです。

当院は、昭和54年の開院当初から、研修医を受け入れ「救急を断らない、何でも診ることのできる医師」の育成を目指し、南部地域の中心的病院として活動しています。

## 南部徳洲会病院臨床研修の理念

### I 理念

「生命だけは平等だ」の基本理念のもと、全人的・全身的に患者様を診る能力を身につけるとともに、医療を通して社会に貢献できる人格形成を目指す

### II 基本方針

1. 患者様の権利を理解し、安全を心がける
2. 医療スタッフと連携し、チーム医療を実践する
3. 基本的な診療能力を身につけ、適切な検査・治療が計画できる
4. 基本的な検査・治療手技を身につける
5. 医師として必要なプレゼンテーション能力を身につける
6. 地域医療の積極的な参加を心がける
7. 生涯にわたって自己研鑽するための学習習慣を身につける

### III 理念の実行方法（研修計画）

1. 医療安全管理委員会・感染対策委員会への参加を通じて患者様の権利、安全管理に対する理解を深める
2. オリエンテーションを通じてコメディカルの職務を理解すると同時に、コメディカルとのカンファレンスを通じてチーム医療の理解を深める
3. 日々の回診、カンファレンスを通じて基本的な診療能力の習得に努める
4. 受け持ち患者様に対する手技を指導医の指導のもと安全に施行する
5. 回診、カンファレンス、学会発表など状況に応じたプレゼンテーションを行う
6. 僻地・離島の研修を経験し理解を深める
7. 日々の症例を記録し常に学習、考察を行う



医療法人沖縄徳洲会 南部徳洲会病院は下記の事項を遵守して  
「いつでも、どこでも、だれでもが、安心して最善の医療を受けられる社会」を目指します。

## 基本理念

# いのち ～生命だけは平等だ～

生命を安心して預けられる病院、健康と生活を守る病院

## 基本方針

1. 年中無休、24時間オープン。
2. 入院保証金、総室（大部屋）の室料差額冷暖房費等一切無料。
3. 健康保険の3割負担金も困っている人には猶予する。
4. 生活資金の立替、貸与をする。
5. 患者さまからの贈り物は一切受けとらない。
6. 医療技術、診療態度の向上にたえず努力する。

## 患者の権利章典

1. 患者は、何人も差別されることなく、適切な医療を受ける権利があります。
2. 患者は、自分の診断・治療・予後についての情報を理解できる言葉で説明を受ける権利があります。しかし、そのような情報を患者本人へ直接伝えることが医学的に妥当でないと思われる場合は、代理人へ伝えます。また、患者は、自身の診療・治療に責任を持つ医師が誰であるかを知る権利があります。
3. 患者は、法律によって許される範囲内で、治療を拒否する権利があります。また、治療をしない場合の予測される結果について知る権利があります。
4. 患者は、当院での診断や治療方法に関して、セカンド・オピニオン（他院を含む他の医師の診断）を受ける権利があります。また、患者は、不服を申し立てる権利があります。
5. 患者は、個人情報やプライバシーについて、配慮を求める権利があります。
6. 患者は、自身の診療録（カルテ）等の診療情報の開示を求める権利があります。
7. 患者は、処置や治療の際に、医師から説明を受ける権利があります。なお、緊急時を除いて、処置や治療の内容だけでなく、それらに伴う合併症や危険性についても説明を受ける権利があります。また、代替方法や代替治療がある場合には、それらについての説明を受ける権利があります。
8. 患者は、病院内での安全な環境を提供される権利があります。
9. 患者が意識不明か自己の意思表示が不可能な場合には、インフォームド・コンセントは法の定める代理人に対して行われます。法の定める代理人の不在時に緊急の医療処置が必要になった場合には、患者があらかじめそのような状況での医療処置を拒否していない限り、患者の同意があるものとみなして医療処置を実施します。ただし、自殺企図の場合には、患者の意思にかかわらず救命医療を実施します。
10. 患者が未成年者あるいは法的無能力者の場合には、法の定める代理人に権利があります。
11. 患者は自己の健康や保険サービスに関する選択が行えるように、保健教育を受ける権利があります。その保健教育には、健康的ライフスタイルや疾患の予防、早期発見の方法に関する情報があります。
12. 患者は、人道的で尊厳のある終末期医療を受ける権利があります。
13. 患者は、医学的のみならず精神的支援を受ける権利があります。それには自らが選んだ宗教の聖職者による支援を含みます。また、それを望まない場合に拒絶する権利があります。
14. 患者は、疼痛の原因を知る権利があります。また、疼痛に対する治療方針決定に関与する権利があります。



南部徳洲会病院

外来診療体制表

2021年9月1日より

※但し、急患は24時間受付、土曜日午後・日曜・祝日は当直医が担当致します。  
※出張・学会の為、担当医が変更になることがあります。  
※診療体制は、都合により変更となる場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

		診療開始時間	受付終了時間	月	火	水	木	金	土	備考
内科 総合診療	朝診	09:00	11:30	服部真己 平良智彦 山本俊二 張英軒 照屋周	小渡輝雄 服部真己 平良智彦 山本俊二	平安山英達 小渡輝雄 渡慶次賀博 山本俊二 張英軒	平安山英達 小渡輝雄 服部真己 山本俊二	服部真己 玉城利昭	服部真己 山本俊二	※Dr平安山、Dr小渡、 Dr玉城利昭の診療08:30～ ※Dr服部の診療 (月火木金)10:00～(土)09:30～ ※Dr平安山は完全予約制 ※(金)Dr玉城は第1・3週
総合診療	昼診	13:30	16:00	清水徹郎 山本俊二 担当医	服部真己 渡慶次賀博	平良智彦 大場修治	西島 功 山本俊二 郷 克己	山本俊二 大場修治	当直医	※(火)Dr渡慶次は第2週目休診
呼吸器外来	朝診	09:00	11:30		金城武士(琉大) 【呼吸器内科】		妹尾真実 【呼吸器内科】	妹尾真実 【呼吸器内科】		※(火)Dr金城は完全予約制 ※Dr妹尾は予約と紹介のみ ※胸部外科外来・SAS外来・ 禁煙外来は予約制
	特診	13:30	16:00		下地光好 【胸部外科外来】		赤崎 満 【SAS外来】			
		14:00	15:30					下地光好 【禁煙外来】		
糖尿病外来	朝診	09:00	13:00						田尻 祐司	※(土)Dr田尻は第4週のみ ※Dr大城は完全予約制
	昼診	14:00	15:00			大城 讓				
循環器内科	朝診	08:30	11:30	川満克紀 安里直美	川満克紀	川満克紀 安里直美 大城力(中徳)	平良智彦	川満克紀	伊集広城	※予約制 ※(水)Dr大城力は第1・3・4週 ※(木)Dr平良は再診のみ受付 ※(土)Dr伊集は第1・3週 ※(土)Dr河野は再診のみ受付
		08:30	10:00						河野秀幸	
救急診療科	09:00～13:00			担当医	清水徹郎	担当医	清水徹郎	担当医	原田 宏	
	13:00～17:00					清水徹郎		原田 宏	当直医	
外科 消化器科	朝診	09:00	11:30	兼城隆雄 大城 敏	久志安範 玉城 聡	久志安範 大城 敏	兼城隆雄 比嘉章太郎(琉大)	玉城 聡 深町俊之	担当医	※(木)琉大は、 Dr稲福又はDr喜瀬
	昼診	13:30	16:30				担当医(琉大)		当直医	
心臓血管 外科	朝診	09:00	11:30	赤崎 満	瀬名波栄信	赤崎 満	下地光好		担当医	※(金)Dr喜瀬は受付16:30迄 ※(土)は、第1・3週 Dr赤崎 第2・4・5週 Dr瀬名波
	昼診	13:30	16:00				西島 功	喜瀬勇也(琉大)		
形成外科	昼診	13:30	16:30		笠井昭吾(琉大)		勝連伸一郎(琉大)			
特殊外来	朝診	09:00	11:30						下地光好 【二次検診外来】 池原康一 【乳腺外来】 長嶺信治 【乳腺・甲状腺外来】	※(土)Dr池原は不定期 9月は11日・25日 ※(土)Dr長嶺は第1・3・5週
	昼診	13:30	15:30			嶺井 悟 【がんサポート新患外来】		嶺井 悟 【がんサポート再診外来】		※再診外来は受付16:00迄
		14:00	16:30				仲榮真盛保 【血管外科外来】			※(木)Dr仲榮真は第1・3・5週 予約制
整形外科	朝診	09:00	11:00	大城義竹 呉屋五十八 赤嶺尚里	金城幸雄 砂川秀之 平良啓之	新垣宜貞 呉屋五十八	金城幸雄 新垣宜貞 平良啓之	砂川秀之 大城義竹 赤嶺尚里	担当医	※初診の方は、診療情報提供書 (紹介状)が必要となります
		09:30	11:00	東 千夏 (琉大)【リウマチ・関節】		山川 慶 (琉大)【痔瘻】		大久保宏貴 (琉大)【手外科】		
脳神経 外科	朝診	09:00	11:30	嘉手苅 勤		嘉手苅 勤				※Dr嘉手苅は予約と紹介のみ ※(金)Dr外間は予約制
	昼診	15:00	16:30					外間洋平 (琉大)		
皮膚科	朝診	08:30	10:00	富永 智	安東和代	安東和代	安東和代	富永 智	富永 智	※Dr安東は診療09:00～ ※Dr富永は紹介と施設患者のみ ※(土)は受付09:30迄
	昼診	14:00	15:00	安東和代	富永 智	富永 智	富永 智	安東和代		
泌尿器科	朝診	08:30	11:30	向山秀樹 島袋浩勝	上間南海子(琉大)		向山秀樹 島袋浩勝			※(火)Dr上間は診療09:00～
	昼診	13:30	16:30	向山秀樹		手術	向山秀樹	手術		
	夕診	17:00	19:00			向山秀樹				
歯科口腔 外科	朝診	09:00	11:00		佐藤範幸 仲西奈穂	佐藤範幸 仲西奈穂	手術	佐藤範幸 仲西奈穂	担当医	※初診の方は、電話にてお問 い合わせ下さい 電話受付時間 平日 11:00～12:00、 15:30～16:30 土曜日11:00～12:00
	昼診	13:30	16:00							
産婦人科	朝診	09:30	11:30	計良光昭 松岡 恵	手術 助産師外来	神山和也 松岡 恵	手術 助産師外来	神山和也 計良光昭	神山和也	※予約以外の方は、電話にて お問い合わせ下さい 電話受付時間 平日12:00～14:00 ※Dr神山の昼診(火)(金)は15:00～ ※(土)は妊婦健診のみ
	昼診	13:30	15:00		松岡 恵			松岡 恵		
		13:30	16:00	神山和也	神山和也	神山和也	計良光昭	神山和也		
小児科	朝診	09:00	11:30	朝倉秋乃 早田 航	朝倉秋乃 川下尋子	朝倉秋乃 早田 航	朝倉秋乃 早田 航	朝倉秋乃 早田 航		※出張等で担当医が変更にな ることがあります ※予防接種は、1週間前迄に予 約が必要です ※小児循環器外来は完全予約制
	昼診	13:30	15:30		【乳児検診/予防接種】		【乳児検診/予防接種】			
	特診	13:30	14:00	早田 航 【小児循環器外来】				早田 航 【小児循環器外来】		
	夕診	16:00	18:00	朝倉秋乃		早田 航				
眼科	朝診	09:30	11:30		稲福ゆり(琉大)					
	昼診	14:00	16:00					力石洋平 ※第1・3・5週 北村優佳 ※第2・4週		
耳鼻咽喉科	朝診	09:00	11:00			稲嶺智広(琉大)	田中克典(琉大)		金城秀俊(琉大)	※土曜日は完全予約制
	昼診	14:00	16:30		喜友名朝則(琉大)					
リハビリ	午前	08:30	11:30	○	○	○	○	○	○	
	午後	13:30	16:30	○	○	○	○	○	○	
放射線治療科	09:00～16:00			眞鍋良彦	橋本成司	眞鍋良彦	橋本成司	眞鍋良彦		※完全予約制
人工透析	09:00～17:00			○	○	○	○	○	○	
ストーマ外来	09:00～12:00					○				

お問い合わせは

八重瀬町字外間171番地1  
☎098-998-1322